

重曹で美しい川を未来へ

静岡市内小学校

稲木 さん

「米のとき汁につけてね！その後、重曹をかけてねー。」

ぼくは毎年、ホールアース自然学校という所にキャンプに行き、川や森の自然の中で思いっきり遊んでいます。

ホールアース自然学校では、ご飯の片付けの方法が変わっています。始めに、残飯をザルに入れ、ゴムベラやボロ布で皿の汚れをとります。残飯は、にわとりのご飯になります。食器を洗う時は、米のとき汁につけてからスポンジでこすります。汚れが取れない場合は重曹をかけてこするとピカピカになります。

ぼくは、重曹を使うと自然にとってどんな良いことがあるのかわからないと思いました。始めに、ぼく達が普段使っている洗剤と重曹のちがいを調べました。食器洗いや洗たくなどに使っている合成洗剤には、石油から作られた「合成界面活性剤」という有機物が使われています。これは、自然界には存在しない物質なので、微生物が分解して無機物にする必要があります。そのためにはすごく時間がかかるので、自然や微生物に負担がかかるし分解しきれないと水が汚れてしまうそうです。

一方、重曹は塩と二酸化炭素から作られていて、元から自然界や体の中にも存在している物なので、川に流れても害がないそうです。

次に、重曹の効果的な使い方を調べました。重曹は弱アルカリ性なので、酸性の油汚れを落とすのに最適だそうです。実際にぼくが使ってみた結果は次のとおりです。最初に汚れを水で流したり布でふいたりすると少ない重曹で汚れが取れました。スポンジに重曹をかけて洗うときれいになりました。もともと汚れがひどい場合は、直接重曹をかけて油となじませてから洗うと取れやすかったです。どうしても取れない時は、重曹と洗剤一、二てきをスポンジに付けてこするとピカピカになりました。重曹だけで油汚れが取れると思ったけれど、取れなくて何度も洗い直して時間や水や重曹がもったいなくなりました。洗剤も必要だと分かりました。

いつも何気なく使っている洗剤によって、川や回りの自然が破壊され、生き物が死んだり、汚染された生き物を口にするぼく達の体に影響が出たりするということが分かって、びっくりしました。だから、ぼくは、「合成界面活性剤」が入っている合成洗剤を汚れに合わせて少なくし、重曹を使っていきたいと思います。ぼく一人で行うことはわずかだけれど、みんなが重曹を使ったら洗剤も水も使う量が少なくなるので、川や海がきれいになると思います。

ホールアース自然学校の川のように底まで見えて魚がたくさん泳い

でいるとうめいな川が未来にも残っていてほしいと思います。そして、
そのような川が増えて、みんな楽しく遊べるようになると思います。
思いました。